

令和3年度 事務事業評価シート（1）

〔令和2年度事務事業〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害児通所支援事業所整備事業				事業番号	011-279	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
			有	取組の方向性	④障害のある子どもとその家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画		無	現状値	—		目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画、第1期障害児福祉計画					
3	事業開始年度			令和 2 年度		終了（予定）年度		令和 3 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市障害児通所支援事業所整備費補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	福泉中央こども園の移管法人（1法人）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺市立福泉中央こども園の民間移管後の幼保連携認定こども園において、医療的ケアを必要とする児童を療育と保育の面から一体的にサポートできるよう重症心身障害児に対応する障害児通所支援事業所の施設整備に要する経費の一部を補助することにより、医療的ケア児を安心して育てることができる教育・保育環境の整備を行うことを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	堺市立福泉中央子ども園の民間化に際し、同法人と一体的に重症心身障害児に対応する障害児通所支援事業所を整備・運営できる法人に対して、障害児通所支援事業所整備費の一部を補助する。 ・令和2年度 工事着工 ・令和3年度 工事竣工 ・令和4年度 開所
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	社会福祉法人 風の馬
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	医療的ケア児の子育て支援のサポート体制の強化						
	当該目標を設定した理由	当該事業によりニーズの高い医療的ケア児の教育・保育環境を整え、医療的ケア児の子育て支援のサポート体制を推進することを目的とするため。					
	目標に対する実績	当該事業の整備事業者に補助金の交付を決定（令和２・３年債務負担行為）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	障害児通所支援事業所整備費補助金の交付決定法人数	法人	目標値	－	1	－	
			実績値	－	1		
			達成率	－	100%		
	当該指標を選定した理由	当該事業が、医療的ケア児の教育・保育環境の推進するため令和２・３年度に堺市立福泉中央こども園に併設した重症心身障害児対応の障害児通所支援事業所の整備を進めるものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	同上					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害児通所支援事業所整備事業	事業番号	011-279
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						(単位：千円)
	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	0	0	0	0	53,000
13 財 源 内 訳	国支出金	－	－			
	府支出金	－	－			
	市債	－	－			
	その他 ()	－	－			
	受益者負担金(使用料、手数料等)	－	－			
	一般財源	－	－	0	0	53,000
14	人件費 (b)	0	0	820	820	820
15	年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	820	820	53,820

事業費の内訳						(単位：千円)			
16	事業費内訳	項 目	年度	事業費	うち 一般財源	項 目	年度	事業費	うち 一般財源
		障害児通所支援事業所整備費 補助金	R2 決算	0	0		R2 決算		
			R3 予算	53,000	53,000		R3 予算		
			R2 決算				R2 決算		
			R3 予算				R3 予算		
			R2 決算				R2 決算		
			R3 予算				R3 予算		
			R2 決算				R2 決算		
			R3 予算				R3 予算		
			R2 決算				R2 決算		
R3 予算				R3 予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分	単位	令和元年度	令和2年度	
	① 障害児通所支援事業所の整備	カ所	－	0	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	－	820	
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
備考 (算出についての説明等) 当該事業は、令和2年・3年度の債務負担行為の事業であることから、令和2年度の事業費支出はない。					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	医療的ケア児の保育ニーズが高まる中、医療的ケア児の受け入れには、医療的技術、人的加配はもとより個々の症状に合わせた設備やスペース確保が必要である。その重症心身障害児対応の障害児通所支援事業所の整備が進まない状況を改善するため、当該事業に係る費用は妥当であると考え。 なお、本事業は令和2年度、令和3年度の債務負担行為事業であり、令和2年度には対象法人に対して、当該整備補助金の交付決定を行っており、令和3年度には目標のとおり、障害児通所支援事業所の整備が完了する予定である。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	保護者の社会進出や子どもの集団活動への参加効果への期待など、医療的ケア児の保育ニーズは年々増加している。 本事業は、医療的ケア児を安心して育てることができる教育・保育環境の整備を行うことにより、医療的ケア児及びその家族への子育てサポート体制を強化する事業であり、障害のある子どもとその家族への支援に寄与している。